

年 組 名前:

趣味で人形を作っている甲府市
桜井町のボランティア団体代表竹

ほぼ笑み人形200体 大阪へ

竹内さん 万博に合わせて製作



大悟 三枝
すき 杉原



大阪で配布する人形と人形に合わせて作られた歌
—甲府市桜井町

全体が金色で、ほぼ笑んだ丸い顔

805) 7815。〈三枝大悟〉

内一夫さん(61)は、2025年大阪・関西万博に合わせて、ほぼ笑んだ顔が特徴の人形200体を作った。協力者を通じて大阪府内で配布する。
竹内さんは、微笑をたたえた仏像を彫って各地に残した木喰上人に共感し、約30年前から人形を製作。人形は陶製で高さは5センチ程度。

は太陽、手は富士山を表している。配布する人形は19年から製作し、万博にちなんで「大阪」「日本」の文字を入れた。
人形配布に合わせて、「日進一歩」を題する歌も作り、インターネットの動画投稿サイトで公開している。未来への思いをほじめ、一度きりの人生の大切さを訴えている。竹内さんは、昔の人たちが積み上げた努力があつて今がある。人形と歌で私たちの世代が未来へと積み上げた努力をつないでいく気持ちを感じてほしいと語る。
人形は北海道を皮切りに北から順番に全国で配布してきた。残すは山陰、九州などの一部の県になつていくという。竹内さんは「10年ぐらいを目安に残りの県でも配布することが今後の目標」と話す。来年は奈良県で200体を配布する計画だ。
大阪で配布する人形は、15日までに竹内さんの自宅で展示している。希望者は観覧できる。問い合わせは竹内さん、電話090(8

(2024年12月6日付 山梨日日新聞19面)

問1 趣味で人形を作っている甲府市の竹内さんは、何に合わせて人形を200体作りましたか。

.....

問2 竹内さんが、人形の製作を始めた理由を教えてください。

.....

問3 竹内さんの、今後の目標を教えてください。

.....